雪をはかる

仙台管区気象台

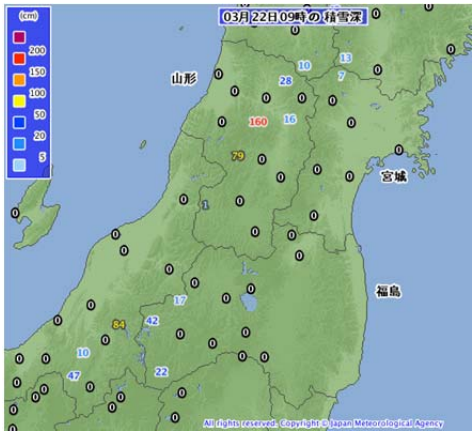
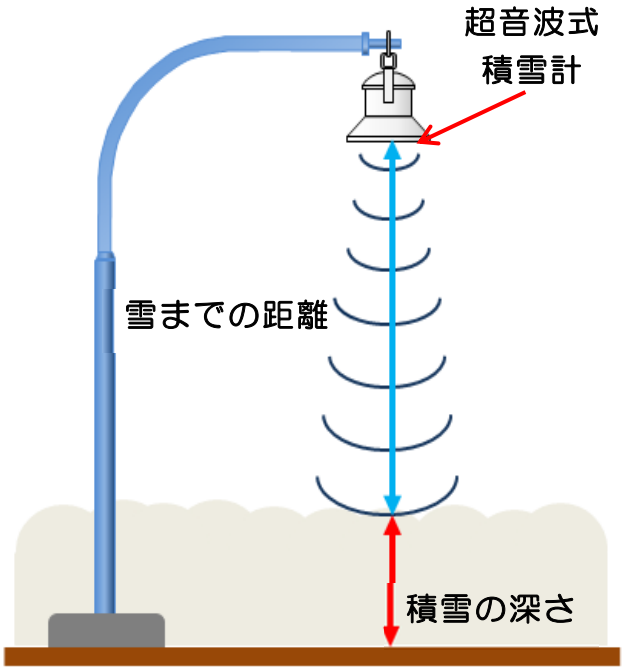
雪が積もっている状態を積雪といいますが、雪の降る地域のアメダスでは積雪の観測も行っています。

積雪は「超音波式積雪計」という気象測器で観測しています。

積雪計は、地面に向けてつねに超音波を出し、反射して返ってくる時間から地面との距離を測定しています。

雪が積もると測定距離が短くなるので、短くなった分が積雪の深さとなります。また、一時間ごとの積雪の深さの差を降雪の深さといいます。

超音波の代わりにレーザーを使って距離を測定する「レーザー式積雪計」で観測をしているアメダスもあります。

超音波式積雪計

レーザー式積雪計